

## 第1回 西区教育ミーティング 会議録概要

開催日時	平成27年度9月29日(火)午後1時30分から午後3時00分まで
会 場	西区役所健康センター棟1階 大会議室
出席者	<p>西区自治協議会委員 出席21名</p> <p>教育委員 齋藤教育委員、伊藤教育委員</p> <p>事務局 教育総務課長、地域教育推進課長、坂井輪図書館長、 教職員課管理主事、学校支援課指導主事、坂井輪地区公民館長、 西区教育支援センター所長</p>
議 事	<p><b>1 開会</b></p> <p><b>2 教育委員代表者挨拶 齋藤教育委員</b></p> <p><b>3 出席者紹介</b></p> <p><b>4 テーマについて 事務局説明 教育総務課長</b> 「総合教育会議の概要について」 「新潟市 教育の大綱について」</p> <p><b>5 教育ミーティング事前質問・意見への回答</b> テーマ「西区の学・社・民の教育の取り組みについて」</p> <p>① 家庭教育充実への支援としている具体的な事業について 事務局説明 坂井輪公民館長</p> <p>② 学校施設を利用したふれあいスクールとスポーツ推進委員との連携について 事務局説明 地域教育推進課長</p> <p>③ 放課後の子ども達の過ごし方について 事務局説明 地域教育推進課長</p> <p><b>質疑</b></p> <p><b>自治協委員</b> ふれあいスクールについては、イベントを工夫したり、担当の方が一生懸命に取り組んでいる様子が良くわかった。ふれあいスクールの参加状況や、将来に向けての期待や要望等あれば伺いたい。</p> <p><b>教育委員会事務局</b> 参加している子どもたちの8割が楽しかったという感想を持っています。伸び伸びと体を動かしたり、地域の方と触れ合うことが楽しかったという事だと思います。 参加率は昨年度、市全体で全校児童の大体13.3%となっています。</p> <p><b>自治協委員</b> ひまわりクラブについて、今年から6年生まで受け入れることは非常に</p>

良いことだと思う。ただ、3年生まで受け入れていた時も施設が狭いという問題があったと思う。それを6年生まで広げると、さらにそういう問題が発生してくる可能性が考えられる。

子供たちの人数に対して、指導する先生が足りていないように聞いている。その辺りの考えを聞きたい。

#### **教育委員会事務局**

ひまわりクラブについては、担当は「こども未来課」のため、答えられる範囲でお答えします。人数が増えて子ども達が心配という声があります。1人当たりの専有面積など基準が設けられていると思われます。

また、支援の単位が決まっており、支援の単位ごとに指導員、または補助員を雇って対応していると伺っています。

#### **自治協委員**

ひまわりクラブについては6時半までだが、共稼ぎ世代の状況として6時半と言うのは結構早い時間。本来の利用目的で考えれば保育園と同様に7時までが、保育園から小学校に上がった親子世代にふさわしい形だと思う。その辺の時間に関する検討はされているのか。

ふれあいスクールとひまわりの連動性について今後どう考えるのか。

#### **司会**

ひまわりクラブの時間の検討については所管がこども未来課なので、後ほど確認のうえ、報告させていただきます。

#### **教育委員会事務局**

ひまわりクラブとふれあいスクールの連携については、ふれあいスクールの研修会に、ひまわりクラブの方も必ず参加し、お互いに子どもたちのために連携をしましょうという働きかけをしています。

ひまわりクラブとふれあいスクールの相互利用について、子ども達が行きたいところに行けるように、配慮をしていきたいと思っています。

### **6 意見交換**

「地域と学校パートナーシップ」の取り組みについて（事務局説明）

#### **自治協委員**

一点目は学・社・民の融合という表現について、二点目は学・社・民の中でも特に重要と思われる学と民、学校と地域の関わりについて、新潟市の学・社・民の融合という流れとコミュニティスクール制度はどのような関係になるのか。

### 教育委員会事務局

学・社・民の民は地域、それからコミ協、各地域の団体、機関、家庭があります。そのほかにも民間企業の民があります。現在、そういう学校、社会教育機関以外のところとも連携していくことが大切であるということで、このような表現になっております。それぞれの組織が担う役割をしっかりと全うしながら、お互いに手を組み合っていくのが融合でないかと考えています。

### 教育委員会事務局

コミュニティスクールは学校運営の一つの形態であると思います。新潟市にとってどういうコミュニティスクールというか、学校運営が必要なのか、どのような形態が合っているのか教育委員会の中で検討しているところです。

### 自治協委員

西区のいくつかの学校に訪問して、総合教育活動のお手伝いをしている。最近では学校の教員が忙しいために、コーディネーターからの呼びかけが多くある。学と民と社も、本当に連携していくためにはそれぞれの業務が膨大にならないようにしないと続かない。その点で、西区のコーディネーターの活躍は大変素晴らしいと評価している。

### 自治協委員

9年前にコーディネーターパイロット校として始まった時に、当時の教育政策監から教育は「今までは連携だったが、融合の時代になってくる」と。融合とは何か。「自分たちが学校の子ども達にどんな風にしていきたいか、まず夢を描いて欲しい。それを学校教育の中に取り入れていくような準備を学校と共にして行って欲しい。」と言われたことが印象に残っている。これからの子ども達をどう育てるかというところで力を合わせ、みんなが共通理解をしながら行ってきて、今パートナーシップ事業が9年目を迎えていると思っている。

地域も、地域の子どもたちを自分たちの子どもとして育てるという視点で、通学時の見守りなどでお互いに顔なじみになっている。良い効果がたくさんあると思う。

### 自治協委員

大学で研究しているが、地域教育貢献のモデルパッケージなどを作った際も、学校の先生にやって頂けませんかと言うと、もう授業事案が決まっていて出来ませんと断られたりした。先生は忙しいので、コーディネーターが窓口になっているのであれば、もう少しコーディネーターの活動について周知した方が良い。そういう窓口が分かれば、大学側からも声掛けして高等教育との融合を図ることもできると思う。

### **教育委員会事務局**

この事業とコーディネーターの周知については、区だよりや市報、テレビなどに積極的に働きかけをして皆さんにお知らせをしているところです。

### **教育委員**

27年度の取り組みとして「広く市民に事業の様子を紹介し、さらに理解を深めるため、広報活動を工夫します」としています。市はこれから子どもを育てようという方にも新潟市の教育がよくイメージできるように、地域と融合してこんないい取り組みをしているというお知らせをこれからはして行くものと思います。

### **教育委員**

コーディネーターの活動は大変だと思うのですが、この存在を知らない人が多いのです。周知についてももう少し行政の努力が必要だと思います。新潟市は全国の政令市に先駆けて全小中学校にコーディネーターを配置した。ほかの政令市から極めて高い評価を受けています。学校を中心にコーディネーターの力を借りながら地域で一緒に児童、生徒をいい形で育てていこうという考えに沿って事業が出来ればと思っています。

### **自治協委員**

コーディネーターの活動について窓口やアピールの仕方、そうした周知についてももう少し可視化できるように検討をお願いしたい。

### **自治協委員**

通学路の危険箇所の報告依頼については、小学校長の他に地域の実情を把握している地域の交通安全推進協議会にも依頼するようにしていただきたい。

### **自治協委員**

コーディネーターの活動状況等については、都市部や農村部など地域によっていろいろな事情・差がある。そのところを良く理解して、データの出し方に配慮を。コーディネーターについて、スキルアップ研修など資質の向上を図って欲しい。

### **自治協委員**

私の地区のコーディネーターの方々は、独自のファイルを各自治会に配布したり、色々と活発に活動されている。それぞれの地域あるいは学校で周知体制を整えている。先ほど広報が足りないという話が出たが、コーディネーターの努力をきちんと知って認めて欲しい。

交通安全推進協議会の件については地域によって違うかもしれない

が、交通安全推進協議会がコミ協の構成員として入っているところも多いのではないかと思う。全体を包括するコミ協に案内を出して、あとは内部でそれぞれの立場で行えば良いのでは。

先般、新聞で非行と暴力の低年齢化が報道されている。現状と今後の対策について伺いたい。

#### **教育委員会事務局**

非行と暴力の低年齢化に対する質問ですが、27年度のデータにつきましては今集約中ではっきりした数値がありません。各学校には一人ひとり子ども達のことをしっかりと見て指導するようにと、校長を通じて話して参ります。

#### **自治協委員**

ボランティアの構成で、保護者や地域住民が関わっているという内容に関連して、学習支援活動が30%とあるがそれはどのような内容か。学校教職員が、パートナーシップ事業は児童、生徒の学力向上に繋がっているとアンケート結果に出ているが、これとの繋がりはあるのか。

#### **教育委員会事務局**

学習支援活動の内訳については資料7をご覧ください。授業の進行を補助してもらおう中で、子ども達が認められたり褒められたりすることによって学力向上に繋がっているのではないかと考えています。

#### **自治協委員**

ひまわりクラブの関連で、教育ミーティングにはこども未来課にも出席して欲しい。パートナーシップ事業の認知度について、コーディネーター新聞のように目に見えるものについては理解できるが、見えていない部分については今日の説明でやっとわかったこともある。

コーディネーターや地域の方の努力に対し、ある意味、現実とかい離している部分もあると思われる。パートナーシップ事業のやり方をもう少しスリムに出来るのでないか。

#### **7 自治協議会長挨拶**

#### **8 閉会**